



広島県立安古市高等学校

仰高

学校×地域×テーマで
加速する学びと広がるネットワーク

ともにつくるミライ

～子供のリアルな学びと体験の充実のために、
今、私たちにできることは？～



広島県立安古市高等学校

仰高

学校×地域×小さな挑戦の機会
で加速する学びと広がるネットワーク

ともにつくるミライ

～子供のリアルな学びと体験の充実のために、
今、私たちにできることは？～



これからの時代を生きる生徒に、
 「小さな挑戦の機会」を
 学校と地域が一緒になって作る取組



0. 安古市高校とは？

- ・ 昭和50年開校
 (今年、創立50周年記念式典を開催)
- ・ 全日制普通科
- ・ 1学年8クラス
- ・ 大学進学を希望
 (ほとんどの生徒)

「学習や行事、部活動を通して
 青春を謳歌することで
 自己実現力を高め、夢を叶える人」

在籍者数

1学年	324名	男子139, 女子185
2学年	323名	男子148, 女子175
3学年	307名	男子125, 女子182
合計	954名	男子412, 女子542

■進路別合格者数(過去5年間)

※()内は過年度生で内数

卒業年度	国公立大学	私立大学	短期大学	専修各種学校	公務員 就職
令和2年度卒業生	225(10)	796(15)	0(0)	16(1)	1(0)
令和3年度卒業生	218(10)	828(42)	1(0)	10(0)	2(0)
令和4年度卒業生	240(10)	892(27)	3(0)	17(1)	0(0)
令和5年度卒業生	213(1)	876(1)	1(0)	8(0)	1(0)
令和6年度卒業生	174(10)	888(29)	3(0)	4(0)	2(0)

進路実績

令和7年4月1日現在

☆令和7年度入試は、
 174名(うち164名が現役)
 国公立大学に合格しました。

10名(うち4名が現役)
 難関国立大学・学部
 に合格しました。



1 本校の学校運営協議会とは？

- 1 年3回開催
(県内の一般的な公立高等学校同様)
- 2 主な内容
 - ・ 3つの方針とルーブリックの共有
 - ・ 学校経営計画
(検討、評価、次年度計画) 等



3 構成員

所属名	役職名	任命区分
広島市立大学国際学部	教授	学識経験者
安古市高等学校PTA	会長	保護者
広島市立安佐中学校	校長	地域住民
安古市高等学校同窓会 元 安古市高等学校PTA会長	会長	その他
元 安古市高等学校PTA	元会長	地域住民
毘沙門台東町内会	会長	地域住民
東北大学名誉教授(前総合科学技術・イノベーション会議委員)	名誉教授	学校の運営に資する活動を行う者
安古市高等学校	校長	当該校の校長

大学接続、大学情報、探究活動協力

保護者接続、PTA情報、探究活動協力

中学校接続、中学情報、探究活動協力

同窓会接続、卒業生情報、探究活動協力

塾接続、地元情報、探究活動協力

地元接続、LMO情報、探究活動協力

学校運営、Society5.0



人脈の広がり

【例】				*卒業生を含む	
大 学	教授	大学院生	大学生		
公務員	内閣府	外務省	県議	市議	
	県職員	市職員	区長	町長	
企 業	取締役	人事			
金 融	支店長	銀行員			
技術者	建築	機械	研究開発		
法 曹	弁護士				
国 際	コンサル				
医 療	看護師	介護士			



4 役割分担【例】

教育課程内

★本校から、総合的な探究の時間で「大学生等のアドバイス」をお願いしたい。

→教育研究部から大学へ。

★本校から、総合的な探究の時間で「講評等」をお願いしたい。

→教育研究部からLMOや同窓会へ。

☆LMO毘沙門台から、「地域の夏祭りに生徒を出演させてほしい。」

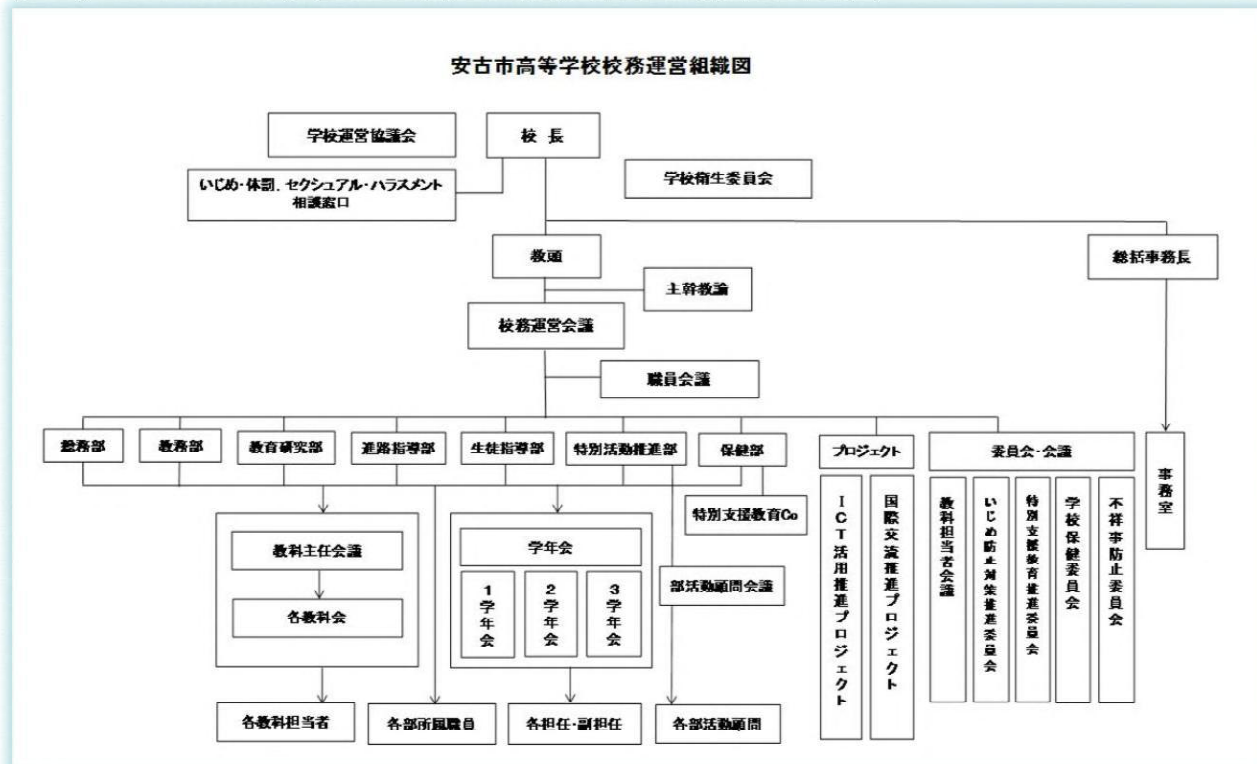
→特別活動推進部から部活動顧問へ。

教育課程外

☆地元中学校から、「合同コンサートに出演して欲しい。」

→該当部活動の顧問へ。

【Keywordの整理】 Q1 「本校の校務分掌の構成は？」



【Keywordの整理】 Q2 「LMO毘沙門台とは？」

ひろしまLMOの取組例

(引用元 広島型地域運営組織
「ひろしまLMO」の取組等について
(令和5年12月)

担当：広島市社会福祉協議会
地域福祉推進課地域連携支援)

学校との連携で地域を活性化！

地域内の学校と連携協定を締結

- 学区内にある小・中・高校とまちづくりに向けた連携協定を締結
- 児童・生徒が地域の活動に参加したり、授業の一環で地域について学習し、地域課題解決策を研究・提案するなど様々な活動を実施
- 若い世代の発想力・行動力を活かして地域の活性化を図るとともに、地域への愛着を醸成



▲小・中・高校と連携協定を締結



▲中・高生が地域行事へ参加



▲高校での地域課題発見・解決学習の発表会

2-1. 各学年で重点的に育てる資質・能力は？

自律	情報リテラシー	3年
	自己管理能力	
挑戦	チャレンジ精神	2年
	粘り強さ	
貢献	コミュニケーション能力	1年
	課題発見・解決能力	

2-2. 目指す資質・能力の尺度は？

R6安古市高等学校全体で育成すべき資質・能力のマスター・ルーブリック 安古市スタンダード(卒業時安古市高生全員にこうなっていきたい姿)

資質・能力	尺度	S	A (安古市スタンダード)	B	C
<自律> 高い「志」を持って、 多様な価値や意見を尊重する中で、自分の考えを断り適切に行動する ① 情報リテラシー ② 自己管理能力		様々な情報や他者の意見を正しく理解し、それらを踏まえて自分の考えや価値観を見直し再構築している。そして、場面ごとに適切な発言や行動が何か考え判断しながら、自分の生活をコントロールしている。	様々な情報や他者の意見を正しく理解し、それらを踏まえて適切な発言や行動が何か考え判断しながら行動している。	様々な情報や他者の意見を踏まえて、自分の力で考え判断しながら行動している。	何事にも受け身で、自分の力で考え判断して行動することができていない。
<挑戦> 高い「志」を持って、 果敢に挑戦し、粘り強く努力を続ける ① チャレンジ精神 ② 粘り強さ		学校生活の様々な場面や将来の進路について、自らの目標を設定し、その実現に向けた行動計画を立てて粘り強く努力を続けている。	学校生活の様々な場面や将来の進路について、自ら設定した目標に果敢に挑戦し、粘り強く努力を続けている。	学校生活の様々な場面や将来の進路について、自ら設定した目標に果敢に挑戦している。	学校生活の様々な場面や将来の進路について、自らの目標を設定することができていない。
<貢献> 高い「志」を持って、 コミュニケーションを取りながら、他者と協働して社会に貢献する ① コミュニケーション能力(聞く力、伝える力) ② 課題発見・解決能力(探究する力)		集団や学校、地域・社会の課題を自ら見出し、コミュニケーションを取りながらその解決のために協働して考察し、解決策を提案・実行している。	集団や学校、地域・社会の課題の解決に向けて、コミュニケーションを取りながら他者と協働して取り組んでいる。	他者の存在を認め、自らコミュニケーションをとろうとしている。	他者の存在を認めず、コミュニケーションをとることができていない。

※「志」とは、「将来の目標」の他、「思いやりの心」、「あきらめない気持ち」、「心を集中すること」、「感謝する気持ち」等を意味します。

《自律》

- ① 情報リテラシー＝様々な情報や他者の意見の内容を正しく理解し、それらを踏まえて自分の考えや価値観を見直し再構築する力
- ② 自己管理能力＝場面ごとに適切な発言や行動が何か考え判断しながら、自分の生活や将来をコントロールする力

《挑戦》

- ① チャレンジ精神＝自ら設定した目標に果敢に挑戦しようとする態度
- ② 粘り強さ＝目標実現のための計画を立て、その達成に向けて粘り強く努力を続ける力

《貢献》

- ① コミュニケーション能力＝他者の話や意見を傾聴したり(聞く力)、考えや話し合ったことを伝えたり(伝える力)する力
- ② 課題発見・解決能力＝課題を見出し、その解決のために協働して考察し、解決策を提案・実行する力

2-3. 仰高ゼミの年間の流れは？



総探×キャリア教育×安古市式STEAM教育

2-4. 仰高ゼミ（1学年）



① 自己探究

自己を知り、他者を知ろうとすることを通して、自己の在り方 生き方を考える力を身に付ける。

探究に大切なものは

① 自ら (楽しみながら) 追究する姿勢

② 振り返りの習慣

ワクワク

一緒に楽しみながら探究しよう！

これまでの仰高ゼミでみんなが学んできた「技」

- #伝える力
- #拡散思考
- #KJ法
- #リフレーミング
- #ポジティブ思考
- #志
- #目標設定
- #共通理解志向型対話
- #聞く力
- #収束思考



- 他者との関係の中で自己と向き合っていく
- 自分から出発し、段階的に世界を広げる

仲間づくり

ワクワク

② 毘沙門台クエスト

地域課題を知り、解決策を提案して、実行する。



○実際に地域に出て学ぶ（直接経験）

○課題発見よりも課題解決を追究する地域課題の課題解決の提案

体験する

出会い繋がる

自分事

2-5. 仰高ゼミ（2学年）

知の冒険



クラス内でグループを形成し、協働的な探究活動を行う。

○継続的な問い直し・探究内容の精度向上

協働



2-6. 仰高ゼミ (3学年)



未来の学び計画書

探究活動で学んだことを生かして、将来の学びの計画を立てる。1学期三者懇談で保護者にプレゼンする。



2-7. 学校評価アンケート(生徒)の結果は?

「私は総合的な探究「仰高ゼミ」に積極的に取り組み、よりよい学校や社会になるために工夫・改善している」において、「そう思う」「ある程度そう思う」の回答割合

	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	(%)
全体	44.3	93.7%	49.4	5.1	93.7
1年生	35.2	55.8	7.8	2.2	93.7
2年生	39.7	53.7	4.9	1.6	93.7
3年生	60.0	37.1	1.7	0.7	93.7

目標	結果
90%	93.7%

	そう思う	ある程度そう思う	あまりそう思わない	そう思わない	(名)
全体	400	446	46	11	937
1年	113	179	25	4	321
2年	122	165	15	5	307
3年	165	102	6	2	275

3 成果

- (1) 学校外の豊富な人材により、地域で子供たちを育てることにつながっている。
- (2) 子供たちの探究が、自走し深い学びにつながっている。
- (3) これまでにない職業をつくっていく人材の育成という観点では、教職員側のマインドセットにもなっている。
- (4) 非認知能力の可視化という観点を得られた。

19

4 課題

- (1) 職員の勤務体制
 - 課業中の会議は夜。 → ボランティア
 - 週休日の活動。 → 特業扱い

(本務を変更してまで勤務の振替は難しい)
- (2) 生徒の安全
 - 広島県青少年健全育成条例に抵触しないように。
 - 保護者の許可も必要。 → 現状は21:00完了
- (3) 講師等の旅費及び謝金
 - 大学生等 → 県費旅費のみ
 - 社会人講師 → 県費旅費＋謝金同窓会
 - LMO等社会人講師 → 特別非常勤扱い

20



広島県立安古市高等学校

仰高

御視聴ありがとうございました。

学校×地域×小さな挑戦の機会で
加速する学びと広がるネットワーク

ミにとライもつくる
ともにつくるミライ

～子供のリアルな学びと体験の充実のために、
今、私たちにできることは？～